

令和 7 年度（令和 6 年度事業）

美深町まち・ひと・しごと創生総合戦略

評 価 報 告 書

令和 7 年度 まち・ひと・しごと創生総合戦略評価（令和 6 年度事業）
について、次のとおり報告する。

令和 7 年 8 月 2 8 日

美深町まち・ひと・しごと創生推進会議 会長 齊 藤 宏 行

1 評価の対象

まち・ひと・しごと創生総合戦略に搭載された具体的な施策のうち41の主な事業について評価した。

2 評価の方法

まち・ひと・しごと創生総合戦略における基本目標1～4に分類される41の主な事務事業について、評価調書及び補足説明によって、3部会において担当する施策を4段階で評価した。

美深町まち・ひと・しごと創生推進会議 会長 齊藤 宏 行、副会長 佐 竹 仁 (◎は部会長 ○は副部会長)	
福祉教育部会	◎佐竹 仁 ○花井あゆみ 宇野 育子 赤川 拳士 工藤 裕美 成田 咲映 大堀 裕康 小林 一仙 井川 健
産業経済部会	◎遠藤 伸浩 ○齊藤 雄太 菅野 聖一 向井 朋博 山下 朋子 内山 徹 中林 秀文 中村 稔 小野 勇二
環境行財政部会	◎村本 修二 ○関下 英明 齊藤 宏行 清水 節子 佐土原 玲子 桜木 健一 竹田 哲 中江 勝規 酒井 博昭

3部会の評価施策数	
福祉教育部会	12事務事業(第3・4章)
産業経済部会	18事務事業(第2章)
環境行財政部会	11事務事業(第1・5章)
四段階評価	
A評価 期待どおりの成果が得られた	B評価 一応の成果が見られた
C評価 あまり効果が見られない	D評価 全く成果が見られない

3 評価の経過

次のとおり会議・部会を開催した。

- ・ 8月 7日 第1回まち・ひと・しごと創生推進会議
- ・ 8月 7日 第1回各部会開催
- ・ 8月19日 第2回福祉教育部会
- ・ 8月28日 第2回まち・ひと・しごと創生推進会議・各部会開催

4 評価の結果

41事業のうち、A評価が30事業[73.2%]、B評価が10事業[24.4%]、C評価が1事業[2.4%]となっており、各事業は概ね順調に実施されていると評価する。

目標達成に向けて、今後も継続した取組が必要である。事務事業ごとの評価結果は次項のとおり。

基本目標ごとに区分した評価結果の概要については、次のとおり。

令和6年度まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価一覧

項	第 1 章			推進会議 評 価	担当 グループ	担当による事業の検証					事業 評価	今後の 方向性
	事業No.	事 務・事 業 名				進捗 状況	指標達成 状況	費用対 効果	実施 方法	次年度 課題		
1	1-2-1	113	地域公共交通運行事業	A	生活環境	A	B	C	A	B	A	現状維持
2	1-3-2	121	公営住宅長寿命化事業	B	水道住宅	B	B	B	B	B	B	見直し
	第 2 章			まちひとしごと 創生推進会議	担当 グループ	事業の検証					事業 評価	今後の 方向性
	事業No.	事 務・事 業 名				進捗 状況	指標達成 状況	費用対効果 果	実施 方法	次年度 課題		
3	2-1-1	201	新規就農者等補助事業	A	農業	A	A	A	A	B	A	現状維持
4	2-1-1	203	地域担い手育成事業	A	農業	A	B	A	A	B	A	現状維持
5	2-1-1	205	農業後継者育成事業	B	農委	A	A	B	B	B	B	現状維持
6	2-1-3	211	農業雇用確保対策事業	A	農業	A	B	A	A	B	A	現状維持
7	2-1-4	220	がんばる美深農業支援事業	A	農業	A	A	A	A	B	A	現状維持
8	2-1-4	221	農畜産物等販路拡大PR事業	B	農業	B	A	B	A	B	B	現状維持
9	2-2-1	225	町有林造林保育事業	A	建設林務	A	A	B	A	B	A	現状維持
10	2-2-1	226	民有林造林保育事業	A	建設林務	A	A	A	A	B	A	現状維持
11	2-2-2	229	林業経営強化事業	A	建設林務	A	A	A	A	B	A	現状維持
12	2-2-2	230	森林認証推進事業	A	建設林務	A	A	A	A	B	A	現状維持
13	2-3-1	232	商工業活動支援事業	A	経済産業	B	A	A	A	B	A	現状維持
14	2-3-2	235	快適な住まいづくりと商工業振興事業	A	経済産業	A	A	A	A	A	A	現状維持
15	2-3-3	237	商工業担い手支援事業	A	経済産業	A	A	A	A	B	A	現状維持
16	2-4-1	238	観光推進体制支援事業	A	経済産業	A	A	A	A	B	A	現状維持
17	2-4-2	239	観光PRとイベント支援事業	A	経済産業	A	A	A	A	B	A	現状維持
18	2-4-2	240	魅力ある観光地づくり推進事業	A	経済産業	A	A	A	A	B	A	現状維持
19	2-5-1 -2	242	チョウザメ振興事業	B	経済産業	B	C	B	B	B	B	規模拡大
20	2-6-1	243	就労活動支援事業	B	経済産業	B	C	B	A	B	B	現状維持
	第 3 章			まちひとしごと 創生推進会議	担当 グループ	事業の検証					事業 評価	今後の 方向性
	事業No.	事 務・事 業 名				進捗 状況	指標達成 状況	費用対 効果	実施 方法	次年度 課題		
21	3-2-1	303	山村留学推進事業	A	教育	B	B	B	B	B	B	現状維持
22	3-2-1	304	青少年教育交流事業	A	教育	B	B	B	B	B	B	見直し
23	3-2-6	314	高等学校教育推進事業	A	教育	A	B	B	A	B	A	現状維持
24	3-3-4	319	青少年健全育成事業	A	教育	B	B	B	B	B	B	現状維持
25	3-5-1	322	冬季スポーツ事業の推進	C	教育	C	B	B	C	C	C	見直し
26	3-5-1	323	スポーツ振興事業	A	教育	B	A	A	A	B	B	現状維持
27	3-5-1	325	こどもスポーツ未来基金事業	A	教育	A	A	A	A	B	A	現状維持
項	第 4 章			まちひとしごと 創生推進会議	担当 グループ	事業の検証					事業 評価	今後の 方向性
	事業No.	事 務・事 業 名				進捗 状況	指標達成 状況	費用対効果 果	実施 方法	次年度 課題		
28	4-1-2	402	各種健診・予防保健事業	A	保健福祉	B	B	A	A	B	B	現状維持
29	4-1-3	403	地域医療・福祉体制整備事業	A	保健福祉	A	A	A	A	B	A	現状維持
30	4-2-1	405	母子保健対策事業	A	保健福祉	A	A	A	A	B	A	規模拡大
31	4-2-2	406	子どもを産み育てるための経済支援	A	保健福祉	A	A	A	A	A	A	現状維持
32	4-3-2	416	高齢者等生活支援事業	A	保健福祉	A	A	B	A	B	B	現状維持
項	第 5 章			まちひとしごと 創生推進会議	担当 グループ	事業の検証					事業 評価	今後の 方向性
	事業No.	事 務・事 業 名				進捗 状況	指標達成 状況	費用対効果 果	実施 方法	次年度 課題		
33	5-1-1	501	地域人材育成事業	B	企画	C	C	B	B	B	B	現状維持
34	5-1-1	502	新しいまちづくりサービスの推進	A	企画	A	A	A	A	B	A	現状維持
35	5-1-2	503	自治会活動推進事業	B	企画	A	B	B	A	B	B	現状維持
36	5-1-2	504	地域活動活性化促進事業	A	企画	A	A	A	B	B	A	現状維持
37	5-2-1	506	移住定住推進対策事業	B	経済産業	A	A	B	B	B	B	見直し
38	5-2-1	507	地域支援対策事業	A	経済産業	B	B	A	A	B	B	規模拡大
39	5-2-2	508	地域交流活動推進事業	A	企画	B	B	B	B	B	B	現状維持
40	5-2-4	510	ふるさと交流事業	B	企画	A	A	B	B	B	B	現状維持
41	5-2-5	511	産学官連携活性化事業	B	経済産業	B	B	A	A	B	A	現状維持

基本目標 1	国の基本目標① 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする まちの特性をいかした産業を振興し、働く場をつくる
	(1) 農業の振興 ●担い手の育成確保 担い手の育成・確保は、重要な課題であり継承希望農家の把握や受入体制づくりの強化など後継者の育成支援を継続するとともに、居ぬき以外での就農についても研究を進められたい。 奨学金貸付事業、パートナー対策事業においても重要な役割を果たしており、今後も継続していくべきと考える。 労働力確保対策は、近年外国人技能実習生や人材派遣会社から派遣される労働者が増加している。耕種部門では人材派遣会社等を活用し支援をしているが、今後も農業者や関係機関とより良い方策を検討・協議しながら継続支援していく必要がある。 ●農地の維持と経営基盤の安定強化 持続ある美深農業の実現のため、『がんばる美深農業支援事業』では、意欲ある農業者を支援し、持続ある美深農業の実現に寄与している。 農畜産物販路拡大PR事業による販路拡大、地産地消の取組に加え、外国人技能実習生や人材派遣会社から派遣される労働者などによる農業従事者の雇用対策にも引き続き取り組んでいく必要がある。 (2) 林業の振興 ●森林の保全と経営基盤の安定強化 町有林は、適切な管理が図られており、J-クレジットやカーボンオフセットなどの取り組みが林野庁からも高い評価を受けている。 持続可能な森林経営のためには、造林・保育、主伐のサイクルは必要不可欠であり、計画的な施業を実施する必要がある。 林業界でも担い手不足が課題であり「北海道立北の森づくり専門学院」による担い手の育成など、林業経営の維持、強化のため、各種事業の支援を引き続き行う必要がある。 (3) 商工業の振興 ●経営基盤の安定強化 商工会が開催する各種イベントにより「まちの賑わい」を創出したほか、プレミアム商品券発行事業やエネルギー価格高騰対策として支援金の交付を行うなど、消費者対策と商店街の活性化につながる経済対策により、経済効果が図られていることから高く評価する。 ●企業誘致・創業支援の推進 企業誘致については簡単に進むものではないが、アイデアや工夫により事業が進展するよう取組を継続されたい。 担い手の確保は、商工業の持続には非常に重要であり、商工業担い手支援事業によって近年飲食店の新規開業が増加するなど、新規開業・事業継承・異業種進出や人材育成への支援など高く評価できる。

(4) 新たな産業の振興

●チョウザメ産業の確立

チョウザメ事業においては、様々な課題はあるものの、産学官連携による推進といった視点も継続して進めていくことを期待する。飼育技術の向上と販売も徐々に拡大しており、産業化に向けて将来的な方向性を検討する必要がある。

(5) 就労対策・勤労者福祉の充実

●雇用の安定と確保

求職者就業訓練支援事業や人材開発センターの事業は、求職者の能力開発に有効な事業であり、引き続き取り組みを推進していく必要がある。

数値目標	基準値	目標値
町内企業就労者数の維持	1, 584人 【平成28年業種別従業者数】	1, 584人 (現状維持)

基本目標2

国の基本目標② 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる
美しい自然と豊かな地域資源をいかし、新しい人の流れをつくる

(1) 関係人口の創出

●移住定住の促進

移住を希望する方が短期でも美深町の生活を体験できるよう移住体験住宅が整備されており、継続して積極的な活用を進められたい。令和6年度はこの取り組みから移住につながった方がおり、地道な活動の成果といえる。今後も事業を継続していく必要がある。

地域おこし協力隊は、都市部から多様な人材を受け入れることにより、新たな目線や知識をまちづくりに活かすことができる事業である。インターンを含めると数多くの人材が美深町で活動することができたのは成果と言える。引き続き協力隊の受入れからまちの活性化につながっていくことを期待する。

●山村留学の推進

山村留学には全国から児童・生徒が集まり、地域と学校が一体となって特色を活かした教育が実践されている。

●地域間交流・ふるさと会活動の推進

令和6年度は添田町と美深町の青年層の交流から新たな商品（クラフトビール）が開発されたことは評価できる。いずれの交流事業も、関係人口の創出、人材の育成などに非常に有効な取り組みであり、今後も継続して進められたい。

ふるさと会活動においては、これまで築いてきたつながりは美深町にとって財産であり、引き続きその関係性を維持できるように進めていく必要があるが、会員の高齢化が進むと同時に会員の減少が続いていることについては今後の課題である。

(2) 観光の振興

●魅力ある観光の推進

本町の特性を活かしながら観光PR、情報発信に努め、美深町の良さを求めて来る観

光客の獲得のために、取り組みを継続されたい。トロッコ王国は、美深町の体験型観光の主力として、松山湿原等と連携した観光振興に取り組んでおり、引き続き必要な支援を行っていくべき。

また、観光PRや情報発信、さらにはイベント開催によるまちの賑わいや地域活性化のため、観光協会をはじめ関連団体への継続した支援は必要である。

数値目標	基準値	目標値
観光客年間入込数の増加	43.7万人 【2020年度】	45.0万人 (3%増加)

基本目標3	国の基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる 結婚・出産・子育ての希望をかなえる (1) 住宅の整備 ●良好な住環境の整備推進 快適な住まいづくりと商工業振興事業は、移住者の支援や再生可能エネルギー設備導入等に対する支援を拡充し実施した。住環境の整備や定住の促進、商工業活性化に有効な事業であり、高く評価できる。一方で、物価高騰等に対する見直しも課題である。 ●公営住宅等の適切な維持・管理の推進 公営住宅の維持管理は、長寿命化計画に基づいて管理戸数の維持が進められている。住宅の老朽化については順次更新しており、引き続き適正な維持管理に努められたい。一部で冬期間の雪による管理の問題が見られるが、安全安心に生活していくためにも、合わせて適正な管理に努められたい。 (2) 学校教育の充実 ●高等学校教育の充実 美深高校は一定の入学人数を確保しているが、町内からの入学人数が減少しているため奨学金制度などの支援事業の効果を検証しながら効果的な支援を継続していただきたい。 (3) 社会教育の充実 ●青少年健全育成 地域住民や関係機関と連携、協力し「子ども110番の家」を設置することで、子供たちの安全を確保し、青少年の健全育成を図ることができている。また、小学校の取組として、児童が通学路にある「子ども110番の家」を訪問し、地域の皆さんとともに安全体制が確認されている。 (4) 子育て環境の充実 ●子育て環境の整備 母子保健事業は1か月児検診、5歳児検診など新たな検診を追加され、妊娠から出産、乳幼児の子育てなど、母親や家族が安心して子育てできる体制になっている。今後も切れ目のない事業を継続されたい。
-------	---

●子どもを産み育てるための経済的支援 不妊治療が保険適用になったが、妊娠を望む夫婦にとって不妊治療は重要なため、安心して治療を受けられるよう引き続き支援することは必要である。		
数値目標	基準値	目標値
合計特殊出生率の向上	1. 25人 【2020 年度】	1. 66人 (人口ビジョン目標値)

基本目標 4	国の基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる 安心して暮らせる魅力的な地域をつくる
(1) 道路・交通網等の整備 ●公共交通の確保 公共交通の維持は、特に少子高齢化が進む地域においては必要不可欠である。車を持たない方の日常の足、町外から通学する学生など、その地域の生活に密着しており、将来にわたって維持していくことが必要である。 (2) 健康づくり・医療の充実 ●病気の予防と早期発見の推進 各種健診（検診）の受診実績は概ね目標を達成しており、自己負担額の引き下げにより若い世代の受診者が増え、町民の健診への意識は高くなっている。 ●地域医療の確保 美深厚生病院は地域医療に欠かせない存在であり、安定的な医療サービスが提供されるよう医師・看護師等の人材確保や必要な機器等の更新など継続した支援は必要である。 (3) 高齢者支援の充実 ●地域包括ケアシステムの充実 高齢者が健康で生きがいを持ち、住み慣れた地域で安心して生活するためには各種事業の継続が必要であり、引き続きサービスを提供できるよ進めてほしい。また、福祉、介護、医療などの人材不足が懸念されており、利用者が安心してサービスが受けられるよう人材確保に努めていただきたい。 (4) スポーツ活動の推進 ●スポーツによるまちづくりの推進 町民運動会の室内開催、ミニバレーボール大会の男女同日の実施など、参加しやすい内容へ変更する取組が行われている。人口減少が進む中でも、役員や関係団体が協議しながら各種大会が開催されている。 冬季スポーツ事業については、エアリアル大会の継続開催といった取り組みは評価できるが、町内出身のエアリアル選手の育成や発掘は進んでいない。今後は、町内だけではなく町外にも視野を広げた取組や支援体制が必要であり、事業を継続していくための具体的な検討が必要である。 こどもスポーツ・文化未来基金事業については、子どもたちの活動を広く支援できていることは高く評価する。	

(5) 住民参画のまちづくりの推進

●住民参画の促進

人材育成研修支援事業は知識の習得や町職員を含む異業種間の仲間づくりに効果的な事業であるが、令和6年度は実施できなかったことは残念である。人材育成の観点はまちづくりに重要であることから、引き続き事業実施できるように進められたい。

買い物支援サービスは、高齢者をはじめとした住民に定着しており、住みよい暮らしの支援となるよう、引き続き事業の継続と周知に努められたい。

●コミュニティ活動の推進

自治会活動の推進については、地域担当員やまちづくり懇談会などを通じて地域の現状・課題の把握に努められているが、地域の実情としては高齢化や人口減少、生活スタイルの変化や情報化の進展によって、以前とは状況が変わってきている。地域の自主性が大事であるが、必要に応じて行政のサポートも実施していただきたい。

美深町活性化促進事業は、住民の意欲ある自主的な活動を支援する制度であり、まちの活性化につながるものである。今後はさらに制度をPRしていくとともに、引き続き活動の支援を継続し、地域活性化や新たな特産品の開発、イベントの創出などにつながるよう事業を推進されたい。

数値目標	基準値	目標値
地域計画策定自治会数	14自治会 【2020年度】	17自治会 (全自治会)

未来へ続く
笑顔あふれるまち

